

しんこうせん もけい
進貢船の模型を観察して、貿易を調べよう

進貢船とは、琉球から中国皇帝へ派遣される使者（進貢使）
を乗せて、貢ぎ物を運んだ船のことです。

展示している船の模型から船の特徴を探り、琉球が行った
貿易について調べよう。

1. 展示している進貢船の模型は、もともとの船の約 10 分の
1 の大きさでつくられています。進貢船の実際の長さは、次
のうち、一番どれと近いかわかってみましょう。

A : 1 年 1 組の教室の長さよりも、5 m 短くした長さ

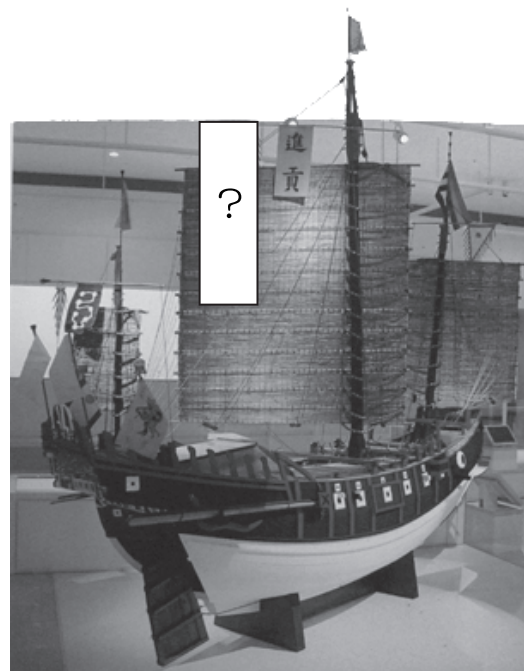
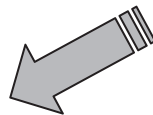
B : プールの長さよりも、5 m 長くした長さ

C : 校庭のすみからすみまでの長さ

答え

2. 船にかかげられている旗^{はた}を見てみましょう。

① 右下の写真のなかで、□の部分の旗を描きましょう。



進貢船の模型

②スケッチした旗は、次の何をあらわしているのか選ぼう。

- A：嵐を呼ぶといわれる水神（龍神）
B：海にいる悪い神や魔物が、船に入っこないように守っている獅子
C：水神（龍神）を寄せ付けない生き物というムカデ

答え

③スケッチした旗以外にも、進貢船にはいろいろな旗やかざりがありました。何のためにかざられたのか、次のなかから選びましょう。

- A：航海の安全 B：嵐を起こす C：国王への忠誠

答え

3. 進貢船は、陸地から遠く離れた外洋を、長距離や長時間にわたって航海できる大型の船でした。琉球人は、同じような大型船で、日本や東南アジアなどへも渡りました。

琉球の船が立ち寄った東南アジアの地名を3つ書こう。

※ヒント：「海上交易図」をみてみよう！

() () ()

4. 琉球人は、琉球でとれる産物以外にも、日本や東南アジアで中国皇帝への貢ぎ物を調達していました。

琉球が中国へ運んだ貢ぎ物はどこの産物なのか、産地を調べましょう。

※ヒント：PCコンテンツ「進貢貿易」のなかにある「概要」の「進貢貿易」の文字をクリックして調べよう！

貢ぎ物	産地	貢ぎ物	産地
いおう 硫黄		こしょう 胡椒	
かたな 刀		うま 馬	

琉球は、進貢貿易の回数が特に多くて、ほかの国よりも優遇ゆうぐうされていたのじゃ。

